

|                    |   |   |    |     |               |        |    |
|--------------------|---|---|----|-----|---------------|--------|----|
| 科目名<br>Course Name | 家事支援技術Ⅱ<br>Housework support technology II  |   |    |     | ナンバリング<br>No. | J4-004 |    |
| 年次                 | 2年  | 期別  | 後期 | 単位数 | 1             | 授業形態   | 演習 |
| 担当者氏名              | 飯塚 晃代   |   |    |     |               |        |    |
| 連絡方法               | C-ラーニングで対応。または栄養棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。  |   |    |     |               |        |    |
| 必修/選択              | 選択(介護福祉士養成課程必修)   |   |    |     |               |        |    |
| 関連 DP              | DP2, DP3  |   |    |     |               |        |    |
| 授業の概要と到達目標         | <p>自立に向けた家事の介護の仕方を学ぶ。<br/>生活支援としての身の回りの整理・洗濯・掃除・ゴミ捨て・衣類及び寝具の衛生管理や修繕技術、家庭経済などの基本的な生活運営がスムーズにできるよう知識・技術を体得し、利用者の状況に応じた介助ができるようにする。</p> <p>個別の生活リズムや個性を理解し、利用者ごとの家事支援のあり方を明確にし、利用者・家族・介護福祉士の連携のもとに家事の支援がスムーズに行えるよう実践力をつける。</p> |   |    |     |               |        |    |
| 授業の方法              | <p>実態を踏まえた家事の介護に関する知識・技術を学び、適切な家事支援ができる実践力・応用力がつけられるよう実験・実習を多く実施する。</p> <p>そのため、習得した知識・技術を自身の生活の場で確認することで定着を図り、確実に力を身につけられるよう事前事後の学習も重視する。</p> <p>また、国家試験に十分対応できる力をつけられるように授業を進める。</p>                                      |   |    |     |               |        |    |
| 学習成果               | L01   | 生活支援としての身の回りの家事の介助を意欲的に学び、基礎的な支援ができる。   |    |     |               |        |    |
|                    | L02   |   |    |     |               |        |    |
|                    | L03   | <p>①利用者の状況に応じた、介助支援の領域を広げることができる。</p> <p>②家事支援の多領域にわたり、利用者の状況に寄り添った支援ができる。</p> <p>③利用者の状況に応じた介護支援がスムーズにでき、実践の場で細かな支援に気づき、行動できる。</p> |    |     |               |        |    |
|                    | L04   |   |    |     |               |        |    |
| 課題に対するフィードバック      | レポートや授業ノート等の提出物は速やかに講評し、各自にフィードバックする。   |   |    |     |               |        |    |
| 教科書/参考図書           | 最新介護福祉養成講座 6 生活支援技術 I / 中央法規出版<br>授業時、プリント配布。参考書は随時紹介する。  |   |    |     |               |        |    |
| 履修上の留意点やルール等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●提出物の期限厳守</li> <li>●資格取得科目につき、積極的な授業参加であること</li> <li>●プリントを綴るファイルを用意すること</li> <li>●材料費は自費負担とする。</li> <li>●事前・事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回 45 分とする。</li> </ul>                                |   |    |     |               |        |    |
| 担当教員の実務経験          |   |   |    |     |               |        |    |

| 成績評価の方法と基準 |   |         |     |     |     |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域      | 評価基準  | 学習成果の割合 |     |     |     |
|            |   | L01     | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度     | 遅刻・欠席がなく、意欲的に授業参加できたか。  | 10      |     |     |     |
| レポート/作品    | 授業ノートを綴りごとに提出し、理解度を測る。また、レポートや製作した作品等を観点別に評価する。いずれも期限を過ぎた場合は減点する。 |         |     | 70  |     |
| 発表         |   |         |     |     |     |
| 小テスト       | 学習の定着を図り、国家試験に対応できる力があるか理解度を確認する。                                 | 20      |     |     |     |
| 試験         |   |         |     |     |     |
| その他        |   |         |     |     |     |
| 合計         |   | 30      |     | 70  |     |

| 回数 |         | 授業計画   |
|----|---------|--|
| 1  | 授業内容    | ガイダンス 家事の意義と目的 家事支援時に念頭に置くこと<br>実習時に課題と感じたこと、介護福祉士として身につけたい家事支援技術について考える。                                    |
|    | 事前・事後学習 | 訪問介護実習時の記録を振り返る。   |
| 2  | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護① 衣服の修繕技術 基礎縫い(手縫い)【作品①】  |
|    | 事前・事後学習 | 裁縫道具を整理し持参する。これまでに学んだ技術を振り返る。  |
| 3  | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護① 衣服の修繕技術 基礎縫い(手縫い)【作品①】完成  |
|    | 事前・事後学習 | 基礎縫いのプリントを確認しながら繰り返し練習し、技術の定着を図る。  |
| 4  | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護② 寝具の衛生管理   |
|    | 事前・事後学習 | 自宅の寝床環境や寝具の管理を見直す。   |
| 5  | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護③ 衣類・寝具の材料<br>繊維の種類と特徴及び布の構造【実習】  |
|    | 事前・事後学習 | 衣類の組成表示を見る習慣をつけ、繊維の特徴等を復習する。   |
| 6  | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護④ 衣類の衛生管理 洗濯の方法1<br>取り扱い・絵表示、洗剤種類と界面活性剤のはたらき【実験 レポート】   |
|    | 事前・事後学習 | 取り扱い・絵表示など国家試験頻出問題を繰り返し復習する。自宅で洗濯を実践する。  |
| 7  | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護④ 衣類の衛生管理 洗濯の方法2<br>洗濯の具体的なポイント アイロンかけ【実習】  |
|    | 事前・事後学習 | 自宅で洗濯やアイロンかけを実践する。   |
| 8  | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護④ 衣類の衛生管理<br>しみ抜き【実験 レポート】 保管の方法(防虫剤の種類、保管場所の環境因子等)<br>和服の畳み方【実習】                                 |
|    | 事前・事後学習 | 自宅でしみ抜きを実践したり、保管の状況を確認したりする。   |
| 9  | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護⑤ 衣服の修繕技術 ミシンの活用【作品②】   |
|    | 事前・事後学習 | 次時の予定に合わせて、製作を進める。   |
| 10 | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護⑤ 衣服の修繕技術 ミシンの活用【作品②】   |
|    | 事前・事後学習 | 次時の予定に合わせて、製作を進める。   |
| 11 | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護⑤ 衣服の修繕技術(ボタン付け他)【作品②】完成  |
|    | 事前・事後学習 | 作品製作を通して身についたこと、家事支援に役立てること等をまとめる。   |
| 12 | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護⑥ 家庭経営 家計の管理、消費者問題<br>年金等高齢者の家計、ものの購入等金銭管理の進め方、支援の注意点等<br>悪質商法 クーリング・オフ制度 支援の注意点等(購入方法の変化にも対応する)  |
|    | 事前・事後学習 | 家計の管理、悪質商法やクーリング・オフ制度など国家試験頻出分野を繰り返し復習する。  |
| 13 | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護⑦ 清掃 QOL向上のための支援<br>掃除の仕方【実習】、高齢者の居室の掃除、ごみ捨て(分別)、エコライフ、支援の注意点等                                    |
|    | 事前・事後学習 | 掃除の仕方など国家試験頻出問題を繰り返し復習する。自宅で掃除を実践する。   |
| 14 | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護⑧ 衣服のリフォーム・ユニバーサルデザイン<br>実習を振り返り、介護の際に有効な衣服のリフォームについて工夫点を考え話し合う。【グル<br>ープワーク】<br>介護福祉士国家試験頻出問題の確認 |
|    | 事前・事後学習 | 介護福祉士国家試験頻出問題を繰り返し解く。  |
| 15 | 授業内容    | 自立に向けた家事の介護⑨ まとめと確認<br>介護福祉士国家試験模擬試験【小テスト】及び解説   |
|    | 事前・事後学習 | 『家事支援技術Ⅱ』で学んだ介護福祉士に必要な知識・技術を振り返り、今後生かしていく方<br>法を考えると同時に、試験合格に向け繰り返し学習する。                                     |